山と川、森と海、あなたと私。 ~つながりを考えませんか? 設楽ダムをきっかけに~

将来のための水は、 足りているの? あまっているの?

設楽ダム 連続公開講座 とよがわ流域県民セミナ-カワセミ第6回 第1・2部

2013年8月3日(土)

第1部:10:00~12:00

第2部:13:00~16:30



愛知大学豊橋キャンパス「記念会館」小講堂 (豊橋市町畑町 1-1)

第6回テーマ

「豊川流域の水利用〜水を通じて、流域の未来像を考える」

第1部(10:00~12:00)

テーマ:とよがわ流域の水利用計画

・講演1:上水道、工業での水利用について(愛知県) ・講演 2:農業での水利用について (東海農政局)

質疑応答・ディスカッション

第2部(13:00~16:30)

テーマ:愛知県、東海農政局と異なる視点からの水需要・水供給について

・講演3: 富樫幸一氏の講演 (岐阜大学地域科学部教授)

「豊川水系における利水の現状とフルプランの検討」(仮)

・講演4:蔵治光一郎氏の講演

「愛知県 (講演1)、東海農政局 (講演2) の見解」と、「富樫氏 (講演3) の見解」

の何が異なっているのかの解説

質疑応答・ディスカッション

サイドイベント (12:00~13:00・14:30~15:00)

愛知県三河山間地域の食材を使ったピザや猪肉の奥三河バーガー、炭火焼弁当、 そして有機野菜のベジタブル弁当などの販売を行います。



セミナーの第1部では、上記数字の根拠について、豊川水系における現在の水需要および水供給がどのようであり、 将来どのようになると考えているのかを踏まえた、県および国の見解について解説していただき、豊川水系の水需 要および水供給について理解することを目的としています。

それを受けて、第2部では、愛知県および東海農政局と異なる視点からの水需要および水供給についての意見を解 説していただくことで、愛知県、東海農政局による解説の位置づけを、より広い観点から検討することを目的とし ます。





富樫 幸一 氏

岐阜大学地域科学部教授。1956年山形県酒田市生まれ、東京大学大学院理学系研究科地理学専門課程博士課程単位取得退学。博士(理学)、岐阜大学教養部助教授、同地域科学部助教授を経て現職。専門は地理学。著書に『水資源政策の失敗―長良川河口堰』(2003年,共著、成文堂)、主要論文に「長良川河口堰をめぐる利水構造の実態とゲートの開放」(2010年10月,自治研ぎふ,第97号,7-27)がある。

講演者



蔵治 光一郎 氏

東京大学大学院農学生命科学研究科准教授、附属演習林生態水文学研究所長。1965 年東京都生まれ。専門は森林水文学、森・水と人間との関係。矢作川森の研究者グループ共同代表として「矢作川森の健康診断」運営に携わるなど、現場の課題解決に総合的な視点から取り組む市民活動実践者でもある。著書に『森の「恵み」は幻想か』(化学同人)、編著書に『水をめぐるガバナンス』(東信堂)、『森の健康診断』『緑のダム』(ともに築地書館)など。

会場への アクセス

愛知大学豊橋キャンパス 「記念会館」小講堂

〒 441-8522 豊橋市町畑町 1-1 JR/名鉄「豊橋」駅から渥美線に乗り換え、「愛知大学前」 下車すぐ

〈設楽ダム連続公開講座運営チーム委員〉

戸田敏行(愛知大学 地域政策学部教授)

井上隆信(豊橋技術科学大学大学院 工学研究科教授)

蔵治光一郎(東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

生態水文学研究所長 • 准教授)

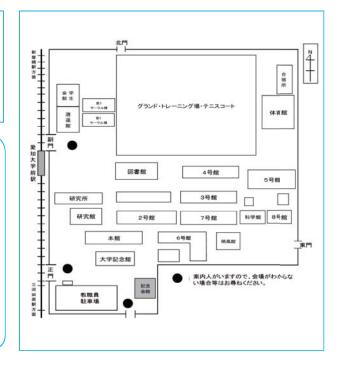
富永晃宏(名古屋工業大学大学院 工学研究科教授)

原田さとみ(タレント/エシカル・ペネロープ株式会社代表取締役)

〈愛知県政策顧問〉

小島敏郎(青山学院大学国際政治経済学部教授)

主催:愛知県



参加申込書(兼参加証)

ふりがな

参加者氏名

住所・デ

電話番号(携帯可)

E-mail (お持ちの場合)

- ◆受講票などの送付はありませんので、直接会場へお越しいただき、受付でお名前をお伝えください。
- ◆定員になり次第、申込みを締め切らさせていただきます。
- ◆できるだけ事前申込をお願いしておりますが、当日参加も可能です。 事前申込の方を優先しますので、準備の都合上、資料が足りない場合はご了承ください。
- ◆講座中、アンケートにご協力いただきますようお願いします。筆記具をご持参ください。
- ◆ご記入いただいた個人情報は、公開講座のみに利用させていただきます。

申込期日 25年7月8日(月)~25年8月1日(木)

電子メール送信先:tochimizu@pref.aichi.lg.jp

FAX 送信先: 052-961-3293

問い合わせ

愛知県 地域振興部 土地水資源課

水源地域対策グループ

電話:052-954-6122